

交通指導員さん こんにちは!

5

小学生の登下校を見守る交通指導員さんにスポットをあて、子どもたちを守るお仕事を紹介するとともに、その地域のヒヤリポイントもお伝えしています。

恵庭小学校担当の指導員、村山静子さんを紹介します。
(取材●市民記者 三上美香)

▼恵庭駅を中心に主要機関が集中する校区

恵庭小学校はJR恵庭駅や恵庭市役所の近くで、付近には商店街や銀行、病院なども多くあります。登校時は、出勤時間帯と重なり、駐車場などに入りまする車も多いなか、子どもたちは通学しています。



さらに国道36号線と道道46号線という交通量がかなり多い主要道路が校区を横断しているの



▼新旧の住宅地を網羅する広い校区

恵庭小学校の校区は

白樺町から桜町、住吉本町、福住町を経て黄金北、上北の一角からなる、南北に細長い校区です。通学時、登校は子どもたちがまとまってするのですが、下校時は子どもたちもさまざまな事情で、朝のようにまとまって帰るといえることはできません。

このことで指導員さんがちよつと心配している事があるそうです。

実は、住宅街というのは下校時間帯はひっそりとしているのです。

「できれば、みなさん一人では帰らずに、お友だちと何人かで帰ってほしいですね」と指導員さんは言っていました。

▼村山さんにお話していただきまし

Q 交通指導員の仕事を始めたのはいつからですか?

A 平成21年4月からです。今年で2年目になります。昨年は松恵小を担当し今年から恵庭小学校の担当になりました。

Q この仕事を選んだきっかけは?

A 4年前恵庭市に引越してきて、交通指導員

がいることを知りました。以前、交通安全に係わる仕事をしていたのでやってみようと思いました。



Q 指導員の仕事をして良かったと思つたことは

どんなことでしょうか? また、大変だなあと感じたことはありますか?

A 良かったと思うのは、交通安全教室で指導したことを理解し守っている子どもたちの姿をみた時です。大変だと思うのは、今年の夏のように暑い日が続いた時です。

「指導員さん暑くない?」と子どもたちによく声をかけてもらいました。

Q 恵庭小学校の児童はどんな印象ですか?

A 明るく、元気でやさしい子です。

Q 恵庭小学校校区内にあるヒヤリポイントを教えてください。

京町のサンクス駐車場
歩道を通らないで駐車場のなかを歩く子が多く、車の出入りがとても多い



ヒヤリポイント①、京町サンクス駐車場



ヒヤリポイント②
桜町1丁目の交差点
住宅街で交通量は少ない場所ですが、見通しが悪く危険です。



ヒヤリポイント③、桜町1丁目交差点

▼記者から
村山さんは楚々として優しいばかりでなく、強

さを兼ね備えている方という印象を受けました。以前、交通安全に関するお仕事をされていたので、細かいところまでよく行きとどいた観察眼をお持ちだと思います。村山さんありがとうございました。



えこりん村「冬みずたんぼ」で稲刈り体験

●記者 本保智美

9月19日、えこりん村で稲刈り体験をしました。今年夏は夏の気温が高かったため稲が早く育ち、稲刈りも、いつもの年より早目に行われました。稲刈りをしたのは「ゆきひかり」という品種で、我が家でも、お米のアレルギーに良いと聞いて食べていたお米でした。刈った稲をわらで結ん



稲刈り

で「はさがけ」をして干しました。

翌週は脱穀・籾摺り体験

9月26日には前の週に天日干した「ゆきひかり」の脱穀です。電動式の脱穀機に、束ねられた稲をしつかり持ち、手を巻き込まないように気をつけて、稲穂の先から中に入れていきます。

ガラガラドラドラジュラジュラジュラと言う音と共に、脱穀された籾が、ちゃんとお米の粒ができてくる重たい物と、そうじゃなくて軽い物とに分けられ、下の箱に貯まるようになっていきます。

ガラガラがカラカラという音に変わって持つ手が軽くなり、稲の束を出してひっくり返して



稲穂が付いていないのを確認して脱穀は終わり。このままではまだ「籾」といつて玄米に殻がついている状態で、食べるには、これを次に籾摺りしなくてはなりません。

籾摺り体験は、色が紫色の「きたのむらさき」という品種の黒米でした。籾を摺りばちに少しずつ入れ、摺りこぎでしばらくゴリゴリ摺ると、紫色のお米が次々と顔を出しました。

別なお皿に移して静かにふうふうと息を吹きかけると、軽い籾殻だけ飛んで玄米が残りました。このお米はもらつて帰りました。どんな味がするのかなあ?



ごーりごーり、籾摺り

●記者
松恵小2年
本保森魚

もみすりは、ゴマすりと同じだった。田んぼで10センチくらいのデカガエルと色んなカエルを見つけた!